

2021 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [木津川市立木津南中学校] 担当教諭名 [鳥居 結人・宮原 麻美] (美術部 25名)

相手国・地域 [エストニア]

海外学校名 [Tamsalu Gymnasium] 担当教諭名 [Reena Curphey]

■実施教科・時間数について教えてください。

アートマイルに関連した 実施教科・時間数	教科	単元名	時間数
	部活動	アートマイルプロジェクトで世界とつながろう	60

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	<p>“What’s important is to know, to imagine and to communicate the position of others. A happy world will expand from each person’s actions.”</p> <p>「大切なのは、他人の立場を知り、想像し、伝えること。一人ひとりの行動から、幸せな世界は広がっていく」</p>
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	<p>私たちは SDGsの3つの目標(10. 人や国の不平等をなくそう 5. ジェンダー平等を実現しよう 14. 海の豊かさを守ろう)について考えました。この絵の海中の網は、目標達成を妨げる偏見や無知、無理解などの象徴です。網の中の海洋ゴミや苦しむ生物たちは、不平等や偏見に苦しむ人々をも表しています。その網を内側から押し上げ、協力して開いていく日本とエストニアの中学生は、行動していく人々を表しています。網の外の泡の中には、各国が住みたい理想的な世界を描きました。</p>
	

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<p>コロナ禍の影響で、時間的な制約があり、また取り組みが中断したこともあったが、完成まで粘り強く進めることができた。海外との交流によって日本を取り巻く環境に気付けた。生徒の住んでいる場所を超えて日本レベルで問題を考えることが出来た。</p>	<p>世界で起こっている問題について、自分ごとのように考えるのに時間がかかった。</p> <p>完成までのいくつかの段階で、生徒同士や教師と生徒の意思疎通のためのコミュニケーションが不十分で、スムーズに進まないことがあった。</p>

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<p>今まであまり知らなかったエストニアについて、相手国のことを知れば知るほど距離が近くなっていったように思う。</p>	<p>教師自身も問題の重大さには気づいたが、伝えることに時間がかかった。SDGsのテーマひとつで作品が作れないと考え、色々なゴールに手を出したことが、余計に進むスピードを遅くしたと思う。ある程度適切な誘導が必要なことにも気付いた。</p>

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	6月 ～ 9月	フォーラムでの自己紹介、学校紹介、動画での国紹介など。エストニアについて調べた事を新聞にして、みんなで共有した。	未知の国エストニアの情報は、とても新鮮だったようだ。小グループでの新聞作りは、異学年の交流にもなった。英語の自己紹介は、人前でしゃべるのが苦手な生徒も、頑張ってやりきれた。	部活動
共有 テーマ学習	10月 11月	SDGsのゴール決めや表現のしかたについて、意見を出し合った。小グループでSDGsのパワーポイントを作成し、フォーラムに送った。	SDGsについては、興味が分かれ、まとまりにくく、多数決で決めた。パワーポイントは、自由に作成させたので、個性的で楽しいものができた。	部活動
融合 メッセージ作成	11月 12月	テーマについて、意見を出し合い、作品のタイトルの案を作った。	タイトルを決める過程で、何を表現して、何を伝えたいのかが明確になった。	部活動
創造 壁画制作	12月	平日はまとまった活動時間が少なく、毎週休日と、冬休みに活動を行った。なかなか進まない時もあったが、最終的に期日までに完成することができた。	アイディアスケッチでは多くの良い作品ができ、鑑賞できた。休日に毎回参加できない生徒が多く、作品が進みにくかった。寒さが厳しい中でも頑張った生徒は、高い達成感を得られたようだ。	部活動
評価 振り返り 自己評価	1月 3月	3学期早々にワークシートで振り返りを行ったが、すぐにコロナの蔓延防止措置で活動が中止に。3月に再開した時、更に詳しいワークシートで来年度に向けた意見を求めた。	完成した壁画が返ってこない中での振り返りだったが、真剣に取り組んでいた。困難な課題を苦しみながらも達成できた経験は、色々な反省点も含めて次への意欲に繋がったようだ。	部活動

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価（5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった）

学習目標・つきたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化・自文化を理解する力	4	調べ学習には意欲的に取り組めた。他の生徒の発表も興味深く見て、学ぶことができたようだ。エストニアの事だけでなく、自分の住む地域のこと、日本という国のことを考えるきっかけになったという感想も多かった。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	2	意見を出し合う中で、賛成するだけでなく、反論する経験ができた生徒もいたが、客観的、論理的に考えさせ、最終的に折り合いをつけさせることに課題があった。
主体的に考え行動する力	4	構図決めで意見のぶつかり合いもあり、スムーズに進まないこともあったが、自主的に話しやすい雰囲気を作ること、自分の意見を正しく伝えること、人の意見を理解することの難しさや大切さを学んだという意見も多かった。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	2	エストニア側は、教師のアクションが多かったが、生徒同士の対話の機会が少なくて残念だった。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	5	難解ないくつかのテーマを強いメッセージ性のある表現に変えて表現することが出来た。生徒の振り返りでも、自分の意見を持ち、協力し合って作品にできた喜びや経験について、評価した意見が多かった。